野田市農業委員会総会会議録（第2回）

1. 野田市農業委員会会長齊藤和夫は令6年2月9日午後3時00分、野田市農業委員会総会を野田市役所8階に招集した。

1. 出席委員は次のとおりである。

〈農業委員〉

1番 川 辺 茂	2番 山 田 賢 一
3番 筑 井 正	4番 齊 藤 和 夫
7番 吉 岡 清 美	8番 荒 木 大 輔
9番 染 谷 美佐夫	10番 宇佐見 稔 久
12番 鳩 貝 直 子	13番 藤 井 愛 子

〈農地利用最適化推進委員〉

1番 江 村 昭 夫	2番 中 島 利 男
3番 針ヶ谷 久 翁	4番 藤 井 文 男
5番 岡 田 武 志	7番 金剛寺 浩 一
8番 張 替 均	9番 山 田 教 明
10番 池 澤 保	11番 木 村 安 雄
12番 知 久 清 治	13番 松 沼 貴
14番 和 田 利 浩	

1. 議事日程

第1 議事録署名委員の指名について

第2 議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請について

議案第2号 農地法第4条第1項の規定による農地転用許可申請について

議案第3号 農地法第5条第1項の規定による許可処分の取消願について

議案第4号 農地法第5条第1項の規定による許可後の計画変更承認申請について

議案第5号 農地法第5条第1項の規定による農地転用許可申請について

議案第6号 農地法の規定に基づく許可を要しない土地の証明願について

議案第7号 農用地利用集積計画について

議案第8号 農用地利用集積計画（一括）について

第3 報告第1号 農地法第3条の3の規定による届出について

報告第2号 農地法第4条の規定による農地転用届出について

報告第3号 農地法第5条の規定による農地転用届出について

報告第4号 農地法第5条第1項の規定による許可申請の取下願について

- 報告第5号 農用地利用配分計画の中途解約について
報告第6号 農地の現況に関する照会について
報告第7号 農地法第52条の規定による賃借料情報について

1. 出席事務局職員は次のとおりである。

事務局長	染谷 隆徳
事務局長補佐	大塚 和彦
主査	松崎 哲史
主事	山代 紘平

議長 ただいまから令和6年第2回野田市農業委員会を開会します。

本日の欠席者を申し上げます。

5番 石塚委員、6番 遠藤委員 病気のため欠席でございます。

11番 後藤委員 所用のため欠席でございます。

野田市農業委員会会議規則第6条の規定による定数に達しておりますので、会議は成立していることをご報告いたします。

議事日程第1、議事録署名委員の選任に移ります。

例により、議長指名でご異議ありませんか。

—異議なしの声多数—

異議なしと認めます。

7番 吉岡 清美 委員、8番 荒木 大輔 委員を指名します。

本日の案件は、議案第1号から議案第8号までとなっております。

ただいまから議事に入ります。

議長 議案第1号「農地法第3条の規定による許可申請について」を議題とします。

申請番号1番について、事務局の説明を求めます。

事務局 議案第1号申請番号1番についてご説明いたします。

1ページをご覧ください。

申請地は、田2筆で3,840平方メートル、畑2筆で6,344平方メートル、合計10,184平方メートルとなっております。

権利の内容は所有権移転です。

申請理由は、譲渡人は、遠隔地のため作付けが困難なため、譲受人は、営農を拡大するためとなっております。

農地法第3条第2項各号に該当する場合は許可できませんが、いずれにも該当しません。

令和6年1月23日に受付をしております。
以上です。

議長 本案について、現地調査班第1班より説明をお願いします。

宇佐見委員 今月は1班が担当で、2月7日に現地調査を行いました。

今回の報告は議案第1号1番、議案第3号、議案第4号申請番号2番、議案第5号申請番号1番、2番、8番、9番については吉岡委員、議案第4号申請番号1番、議案第5号申請番号3番から7番については藤井委員が報告します。

なお、議案第1号申請番号2番については降雪で危険なため、現地調査は行いませんでした。1月29日の職員現地調査の結果及び書類審査を行い事務局による報告としました。

議案第2号については、面積変更のため、現地調査不要としました。

議案第6号については、千葉県農業事務所職員及び野田市農業委員会事務局で現調査済の為、現地調査不要といたしました。

それでは、議案第1号申請番号1番について吉岡委員から報告をお願いします。

吉岡委員 議案第1号申請番号1番について報告します。

申請地は、目吹の田2筆、畑2筆で耕作中、肥培管理されている農地でした。

営農計画書、申請添付書類の審査及び現地調査の結果を踏まえ、調査班においては許可相当と判断されます。

以上です。

議長 申請番号2番について、事務局の説明を求めます。

事務局 議案第1号申請番号2番についてご説明いたします。

申請地は、田3筆で9,983平方メートルとなっております。

権利の内容は所有権移転です。

申請理由は、譲渡人は、農業経営の規模縮小のため、譲受人は、農業経営の規模拡大のためとなっております。

農地法第3条第2項各号に該当する場合は許可できませんが、いずれにも該当しません。

令和6年1月25日に受付をしております。

以上です。

議長 本案については、農業委員会事務局にて現地調査が行われておりますので、事務局より報告をお願いします。

事務局 議案第1号申請番号2番について報告します。

申請地は、木野崎字柳耕地の田3筆で耕作中の農地でした。

以上です。

宇佐見委員 営農計画書、申請添付書類の審査及び事務局の現地調査報告の結果を踏まえ、現地調査班においては許可相当と判断されます。

以上です。

議長 ただいま事務局の説明及び現地調査班の報告が終わりました。

質問やご意見のある方は、挙手をお願いします。

筑井委員 はい、申請番号1番の件なんですけども、これ、遠隔地の為耕作が困難との事ですが。

どこなんですか。

事務局 住所の修正をお願いします。

流山市です。

筑井委員 流山市じゃあ、遠いですね

議長 他に、ございませんか。

—質疑なしの声あり—

質疑なしと認めます。

これより議案第1号について、採決します。

本案について、原案のとおり決定することに賛成の方の挙手を求めます。

—全員挙手—

全員賛成と認めます。

よって本案は、原案のとおり可決されました。

次に移ります。

議長 議案第2号「農地法第4条第1項の規定による許可後の計画変更承認申請について」、申請番号1番について、事務局の説明を求めます。

事務局 議案第2号申請番号1番についてご説明いたします。

2ページをご覧ください。

申請地は、船形字明代の畑6筆1,982㎡で貸車両置場として転用許可を受けましたが、申請時に土地登記簿謄本の面積から畑としての残地面積を差し引いた面積にて申請をしておりましたが、確定測量の結果、面積が確定したため計画変更が提出されました。

令和6年1月22日に受付をしております。

以上です。

議長 本案については、農業委員会事務局にて現地調査が行われておりますので、事務局より報告をお願いします。

事務局 議案第2号申請番号1番について報告します。

申請地は、船形字明代の畑6筆で転用目的どおりの貸車両置場用地でした。

以上です。

宇佐見委員 今回の計画変更は敷地の形状等には変更がなく面積の変更のみとなり、事業計画書、申請添付書類の審査及び事務局の現地調査報告の結果を踏まえ、現地調査班においては許可相当と判断されます。

以上です。

議長 ただいま事務局の説明及び現地の報告が終わりました。

質問やご意見のある方は、挙手をお願いします。

特に、ございませんか。

—質疑なしの声あり—

質疑なしと認めます。

これより議案第2号について、採決します。

本案について、原案のとおり決定することに賛成の方の挙手を求めます。

—全員挙手—

全員賛成と認めます。

よって本案は、原案のとおり可決されました。

議長 議案第3号申請番号1番、議案第4号申請番号2番、議案第5号申請番号1番、報告第4号については関連案件のため、一括して事務局の説明を求めます。

事務局 議案第3号申請番号1番、議案第4号申請番号2番、議案第5号申請番号1番、報告第4号についてご説明いたします。

申請地は、令和5年10月25日付けで目吹字砂田の田8筆で農地造成の許可を受けておりましたが、所有者の錯誤があったため、報告第4号の農地法第5条第1項の規定による許可申請の取下願、再申請の議案第4号申請番号2番の計画変更承認申請、議案第3号申請番号1番の許可処分の取消願、議案第5号申請番号1番の申請がなされました。

以上です。

議長 本案についても現地調査が行われておりますので、調査班より報告をお願いします。

吉岡委員 議案第3号申請番号1番、議案第4号申請番号2番、議案第5号申請番号1番、報告第4号についてご説明いたします。

農地区分と被害防除の観点から申し上げます。

申請地は農用地であり、農地造成中の農地でした。

被害防除は法面を安定勾配にて形成します。

事業計画及び申請添付書類並びに現地調査の結果を踏まえ、現地調査班においては、許可相当と判断されます。

以上です。

議長 農地法に基づく農地転用の許可検討事項について、事務局の説明を求めます。

事務局 議案第3号申請番号1番、議案第4号申請番号2番、議案第5号申請番号1番、報告第4号に共通している許可検討事項についてご説明いたします。

まず、信用については、過去の状況を確認したところ、特に問題はないと認められます。

次に転用行為の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合は許可しないこととなっておりますが、農地台帳を確認したところ、賃借人等はいないため、該当しないと考えます。

以上が共通している許可検討事項になります。

それでは、議案第3号申請番号1番、議案第4号申請番号2番、議案第5号申請番号1番、報告第4号のその他の許可検討事項についてご説明いたします。

まず、資力については、融資証明書、融資元の残高証明書が添付されており、必要な資力があると認められます。

土地改良区の意見書は添付されております。

また、申請に係る用途に遅滞なく供することの確実性、行政庁の許認可処分の確実性、計画面積の妥当性は適正であり、防災計画も計画上、問題ないと判断されます。

以上です。

議長 ただいま事務局の説明及び現地調査班の報告が終わりました。

質問やご意見のある方は、挙手をお願いします。

特に、ございませんか。

—質疑なしの声あり—

質疑なしと認めます。

これより議案第3号申請番号1番、議案第4号申請番号2番、議案第5号申請番号1番について採決します。

本案について、原案のとおり決定することに賛成の方の挙手を求めます。

—全員挙手—

全員賛成と認めます。

よって本案は、原案のとおり可決されました。

次に移ります。

議長 議案第4号申請番号1番、議案第5号申請番号3番については関連案件のため、一括して事務局の説明を求めます。

事務局 議案第4号申請番号1番、議案第5号申請番号3番についてご説明いたします。

令和5年11月27日付けで車両置場用地として1,622㎡の転用許可を受けましたが、隣地の地権者から同時に使用してほしいとの要望があったため計画変更及び新規申請となりました。

新たな申請地は、畑3筆で372平方メートルとなっております。

転用の目的は、車両置場用地です。

令和6年1月24日に受付をしております。

以上です。

議長 本案についても現地調査が行われておりますので、調査班より報告をお願いします。

藤井委員 議案第4号申請番号1番、議案第5号申請番号3番について報告します。

農地区分と被害防除の観点から申し上げます。

申請地は、市街化区域に近接し、市役所等の基準点の周囲おおむね500メートル以内であるため、第2種農地であると判断されます。

当該地の現況は、肥培管理されている農地でした。

給排水関係は、給排水は無く、雨水は敷地内浸透とする計画となっております。

周辺農地への被害防除対策は、隣地農地へ土砂が流出しないよう高低差を設けず、ネットを張り被害を防ぎます。

事業計画及び申請添付書類並びに現地調査の結果を踏まえ、現地調査班においては、許可相当と判断されます。

以上です。

議長 農地法に基づく農地転用の許可検討事項について、事務局の説明を求めます。

事務局 まず、信用については、過去の状況を確認したところ、特に問題はないと認められます。

次に転用行為の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合は許可しないこととなっておりますが、農地台帳を確認したところ、賃借人等はいないため、該当しないと考えます。

以上が共通している許可検討事項になります。

それでは議案第4号申請番号1番、議案第5号申請番号3番のその他の許可検討事項についてご説明いたします。

まず、資力については、預金残高証明書が添付されており、必要な資力があると認められます。

土地改良区については議案第5号申請番号3番については該当無と報告されております。

また、申請に係る用途に遅滞なく供することの確実性、計画面積の妥当性は適正であり、防災計画、周辺農地への被害防除対策等も計画上問題ないと判断されます。

以上です。

議長 ただいま事務局の説明及び現地調査班の報告が終わりました。

質問やご意見のある方は、挙手をお願いします。

特に、ございませんか。

—質疑なしの声あり—

質疑なしと認めます。

これより議案第4号申請番号1番、議案第5号申請番号3番について採決します。

本案について、原案のとおり決定することに賛成の方の挙手を求めます。

—全員挙手—

全員賛成と認めます。

よって本案は、原案のとおり可決されました。

次に移ります。

議長 議案第5号「農地法第5条第1項の規定による農地転用許可申請について」申請番号2番について、事務局の説明を求めます。

事務局 議案第5号申請番号2番についてご説明いたします。

5ページをご覧ください。

申請地は、畑1筆で286平方メートルとなっております。

転用の目的は、都市計画法第 34 条 12 号に規定されている使用賃借権による分家住宅用地です。

令和 6 年 1 月 22 日に受付をしております。

以上です。

議長 本案についても現地調査が行われておりますので、調査班より報告をお願いします。

吉岡委員 議案第 5 号申請番号 2 番について報告します。

農地区分と被害防除の観点から申し上げます。

申請地は、農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い農地であることから、第 2 種農地であると判断されます。

当該地の現況は、肥培管理されている農地でした。

給排水関係は、給水は本管より引き込み、汚水雑排水は、合併浄化槽を設置し側溝へ放流。

雨水は敷地内浸透とする計画となっております。

周辺農地への被害防除対策は、土砂流出防止策としてブロックで 1，2 段積みする計画となっております。

事業計画及び申請添付書類並びに現地調査の結果を踏まえ、現地調査班においては、許可相当と判断されます。

以上です。

議長 農地法に基づく農地転用の許可検討事項について、事務局の説明を求めます。

事務局 議案番号第 3 号申請番号 2 番を説明する前に、申請番号 2 番、4 番から 9 番に共通している許可検討事項についてご説明いたします。

まず、信用については、過去の状況を確認したところ、特に問題はないと認められます。

次に転用行為の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合は許可しないこととなっておりますが、農地台帳を確認したところ、賃借人等はいないため、該当しないと考えます。

以上が共通している許可検討事項になります。

それでは申請番号 2 番のその他の許可検討事項についてご説明いたします。

まず、資力については、融資証明書が添付されており、必要な資力があると認められます。

土地改良区の意見書及び排水同意書は添付されております。

また、申請に係る用途に遅滞なく供することの確実性、行政庁の許認可処分の確実性、計画面積の妥当性は適正であり、防災計画、周辺農地への被害防除対策等も計画上、問題ないと判断されます。

以上です。

議長 申請番号 4 番について事務局の説明を求めます。

事務局 議案第 5 号申請番 4 番についてご説明いたします。

6 ページをご覧ください。

申請地は、畑 1 筆 2,295 平方メートルとなっております。

転用の目的は、所有権移転による太陽光発電施設用地です。

令和 6 年 1 月 24 日に受付をしております。

以上です。

議長 本案についても現地調査が行われておりますので、調査班より報告をお願いします。

藤井委員 議案 5 号申請番号 4 番について報告します。

農地区分と被害防除の観点から申し上げます。

申請地は、市役所等それぞれの基準点の周囲おおむね 500 メートル以内の宅地率が 40 パーセントを超えるため、1 キロメートルまで半径を延長し、宅地率が 40 パーセントを超えているため、第 2 種農地であると判断されます。

当該地の現況は、肥培管理されている農地でした。

給排水関係は、給排水は無く、雨水は敷地内浸透とする計画となっております。

周辺農地への被害防除対策は、周囲をフェンスで囲う計画となっております。

事業計画及び申請添付書類並びに現地調査の結果を踏まえ、現地調査班においては、許可相当と判断されます。

以上です。

議長 農地法に基づく農地転用の許可検討事項について、事務局の説明を求めます。

事務局 まず、資力については、残高証明書が添付されており、必要な資力があると認められます。

土地改良区の意見書は添付されております。

また、申請に係る用途に遅滞なく供することの確実性、計画面積の妥当性は適正であり、防災計画、周辺農地への被害防除対策等も計画上、問題ないと判断されます。

以上です。

議長 申請番号 5 番について事務局の説明を求めます。

事務局 議案第 5 号申請番号 5 番についてご説明いたします。

申請地は、畑 1 筆で 442 平方メートルとなっております。

転用の目的は、所有権移転による車両置場用地及び資材置場用地です。

令和 6 年 1 月 22 日に受付をしております。

以上です。

議長 本案についても現地調査が行われておりますので、調査班より報告をお願いします。

藤井委員 議案第5号申請番号5番について報告します。

農地区分と被害防除の観点から申し上げます。

申請地は、農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い農地であることから、第2種農地であると判断されます。

当該地の現況は、保全管理されている給排水関係は、給排水はなく、雨水は敷地内浸透になります。

周辺農地への被害防除対策は、砕石は十分転圧し、周辺への砕石、土砂等の流出がないようにします。

また、土砂等の資材については、近隣農地に飛散しないように、隣地から距離を取って使用します。

事業計画及び申請添付書類並びに現地調査の結果を踏まえ、現地調査班においては、許可相当と判断されます。

以上です。

議長 農地法に基づく農地転用の許可検討事項について、事務局の説明を求めます。

事務局 まず、資力については、残高証明書が添付されており、必要な資力があると認められます。

土地改良区については、意見書には該当しないことを確認しております。

また、申請に係る用途に遅滞なく供することの確実性、計画面積の妥当性は適正であり、防災計画、周辺農地への被害防除対策等も計画上、問題ないと判断されます。

以上です。

議長 申請番号6番について事務局の説明を求めます。

事務局 議案第5号申請番号6番についてご説明いたします。

申請地は、畑3筆で1189平方メートルとなっております。

転用の目的は、賃借権設定による車両置場用地です。

令和6年1月25日に受付をしております。

以上です。

議長 本案についても現地調査が行われておりますので、調査班より報告をお願いします。

藤井委員 議案第5号申請番号6番について報告します。

農地区分と被害防除の観点から申し上げます。

申請地は、市街化区域に近接し、その規模がおおむね10ヘクタール未満であることから、第2種農地であると判断されます。

当該地の現況は、肥培管理されている農地でした。

給排水関係は、給排水はなく、雨水は敷地内浸透になります。

周辺農地への被害防除対策は、砕石敷きし周囲にネットフェンスを設置する計画となっております。

事業計画及び申請添付書類並びに現地調査の結果を踏まえ、現地調査班においては、許可相当と判断されます。

以上です。

議長 農地法に基づく農地転用の許可検討事項について、事務局の説明を求めます。

事務局 まず、資力については、融資証明書、融資元の預金残高証明書が添付されており、必要な資力があると認められます。

土地改良区の意見書及び排水同意書は添付されております。

また、申請に係る用途に遅滞なく供することの確実性、計画面積の妥当性は適正であり、防災計画、周辺農地への被害防除対策等も計画上、問題ないと判断されます。

以上です。

議長 申請番号7番について事務局の説明を求めます。

事務局 議案第5号申請番号7番についてご説明いたします。

7ページをご覧ください

申請地は、現況畑2筆で411.23平方メートルとなっております。

転用の目的は、使用貸借権設定による分家住宅用地です。

申請地は第1種農地ですが、例外規定、住宅その他申請に係る土地の周辺の地域において居住する者の日常生活上又は業務上必要な施設で集落に接続して設置されるものに該当していません。

令和6年1月23日に受付をしております。

以上です。

議長 本案についても現地調査が行われておりますので、調査班より報告をお願いします。

藤井委員 議案第5号申請番号7番について報告します。

まず農地区分と被害防除の観点から申し上げます。

申請地は、その規模がおおむね10ヘクタール以上の一団の農地の区域内にある農地であることから、第1種農地であると判断されます。

当該地の現況は、保全管理された農地でした。

給排水関係は、給水は市上水で、汚水排水については合併浄化槽処理後、蒸発散層にて発散処理を行います。

雨水は敷地内浸透になります。

周辺農地への被害防除対策は、周辺農地への日照、通風等被害を与えることのないように留意するとなっております。

事業計画及び申請添付書類並びに現地調査の結果を踏まえ、現地調査班においては、許可相当と判断されます。

以上です。

議長 農地法に基づく農地転用の許可検討事項について、事務局の説明を求めます。

事務局 まず、資力については、融資証明書が添付されており、必要な資力があると認められます。

土地改良区の意見書及び排水同意書は添付されております。

また、申請に係る用途に遅滞なく供することの確実性、行政庁の許認可処分の確実性、計画面積の妥当性は適正であり、防災計画、周辺農地への被害防除対策等も計画上、問題ないと判断されます。

以上です。

議長 申請番号8番、9番については関連案件のため、一括して事務局の説明を求めます。

事務局 議案第5号申請番号8番、9番についてご説明いたします。

申請地は、畑5筆で2546平方メートルとなっております。

転用の目的は、賃借権設定による駐車場用地です。

令和6年1月24日に受付をしております。

以上です。

議長 本案についても現地調査が行われておりますので、調査班より報告をお願いします。

吉岡委員 議案第5号申請番号8番、9番について報告します。

農地区分と被害防除の観点から申し上げます。

申請地は、農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い農地であることから、第2種農地であると判断されます。

当該地の現況は、保全管理されている農地でした。

給排水関係は、給排水はなく、雨水は敷地内浸透になります。

周辺農地への被害防除対策は、周辺農地へ土砂が流出しないよう、高低差を設けない計画となっております。

事業計画及び申請添付書類並びに現地調査の結果を踏まえ、現地調査班においては、許可相当と判断されます。

以上です。

議長 農地法に基づく農地転用の許可検討事項について、事務局の説明を求めます。

事務局 まず、資力については、融資証明書及び融資元の残高証明書が添付されており、必要な資力があると認められます。

土地改良区の意見書及び排水同意書は添付されております。

また、申請に係る用途に遅滞なく供することの確実性、計画面積の妥当性は適正であり、防災計画、周辺農地への被害防除対策等も計画上、問題ないと判断されます。

以上です。

議長 ただいま事務局の説明及び現地調査班の報告が終わりました。

質問やご意見のある方は、挙手をお願いします。

特に、ございませんか。

—質疑なしの声あり—

質疑なしと認めます。

これより議案第5号の申請番号2番、4番から9番について採決します。

本案について、原案のとおり決定することに賛成の方の挙手を求めます。

—全員挙手—

全員賛成と認めます。

よって本案は、原案のとおり可決されました。

次に移ります。

議長 続いて、議案第6号「農地法の規定に基づく許可を要しない土地の証明願について」を議題とします。

申請番号1番について事務局の説明を求めます。

事務局 議案第6号申請番号1番についてご説明いたします。

8ページをご覧ください。

申請地は、農地法所定の手続きをせずに昭和31年頃より宅地とし利用し、現在に至っております。

平成 14 年 9 月撮影の空中写真及び現況写真並びに経過説明書の状況と現地調査班の結果を踏まえ、農地法所定の許可を得ないまま 20 年以上経過しており、かつ、この間、農地法第 51 条の規定による処分を受けていないため、要件を満たしていると考えます。

令和 6 年 1 月 22 日に受付をしております。

以上です。

議長 ただいま事務局の説明が終わりました。

質問やご意見のある方は、挙手をお願いします。

特に、ございませんか。

—質疑なしの声あり—

質疑なしと認めます。

これより議案第 6 号について採決します。

本案について、原案のとおり決定することに賛成の方の挙手を求めます。

—全員挙手—

全員賛成と認めます。

よって本案は、原案のとおり可決されました。

以上です。

議長 議案第 7 号「農用地利用集積計画について」を議題とします。

議事参与の制限を受ける案件がございます。

よって、本案については、野田市農業委員会会議規則第 10 条の規定に基づき、議事参与の制限を受ける案件が含まれるため、一般、目吹互助は 1 番～24 番、29 番～78 番、80 番～193 番、船形互助、小山互助 1 番から 30 番、39 番から 44 番について先議します。

事務局の説明を求めます。

事務局 議案第 7 号についてご説明いたします。

一般分と互助分に分けて説明させていただきます。

はじめに一般分を説明させていただきます。

9、10 ページをご覧ください。

野田市長より令和 6 年 2 月 2 日付けで、令和 5 年度第 10 次農用地利用集積計画について、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 1 項により農業委員会の決定を求められています。

農用地利用集積計画でございますが、2 年 8 ケ月の賃借権設定が田 1 筆で 1,606 平方メートル、3 年の賃借権設定が畑 2 筆で 2,019 平方メートル、5 年の賃借権設定の畑 3 筆で 2,984 平方

メートル、5年の賃借権設定が田16筆で10,861平方メートル、5年の使用賃借権設定が2,381平方メートル、10年の使用賃借権設定が3筆で1,259平方メートルとなっております。

以上の計画内容は、農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしております。

次に互助分、目吹互助は1番～24番、29番～78番、80番～193番、船形互助、小山互助1番から30番、39番から44番についてご説明いたします。

11ページから18ページ、目吹互助は1番～24番、29番～78番、80番～193番でございますが、1年の賃借権設定が田188筆で372,304平方メートルとなっております。

次に19ページから28ページをご覧ください。

船形互助ですが1年の賃借権設定が田248筆で399,872平方メートルとなっております。

次に28ページから29ページをご覧ください。

小山互助1番から30番、39番から44番ですが、1年の賃借権設定が田36筆で78,106平方メートルとなっております。

以上の計画内容は、農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしております。

議長 ただいま事務局の説明が終わりました。

質問やご意見のある方は、挙手をお願いします。

吉岡委員 議案7、8、9番借地料が入ってないけど。

事務局 はい、0円での設定です。

議長 特に、ございませんか。

—質疑なしの声あり—

質疑なしと認めます。

これより議案第6号の一般、目吹互助は1番～24番、29番～78番、80番～193番、船形互助、小山互助1番から30番、39番から44番について先議します。

本案について、原案のとおり決定することに賛成の方の挙手を求めます。

—全員挙手—

全員賛成と認めます。

よって本案は、原案のとおり可決されました。

議長 次の議案は、私が議事参与の制限を受けるため野田市農業委員会会議規則第16条に基づき、議長を運営委員会農政担当の鳩貝農業委員にお願いしたいと思いますがいかがですか？

—異議なしの声—

異議なしとの事ですので、鳩貝委員よろしくお願ひいたします。

—鳩貝委員は議長席へ、齊藤会長は自席へ—

議長代理 野田市農業委員会会議規則第 10 条の規定に基づき、〇〇委員の退席を求めます。

—〇〇委員退席—

議長代理 議案第 7 号目吹互助 25 番から 28 番を議題とします。

事務局の説明を求めます。

事務局 議案第 7 号目吹互助 25 番から 28 番についてご説明いたします。

12 ページをご覧ください。

目吹互助 25 番から 28 番ですが 1 年の賃借権設定が田 4 筆で 5,455 平方メートルとなっております。

以上の計画内容は、農業経営基盤促進法第 18 条第 3 項の各要件を満たしております。

以上です。

議長代理 ただいま事務局の説明が終わりました。

質問やご意見のある方は、挙手をお願いします。

特に、ございませんか。

—質疑なしの声あり—

質疑なしと認めます。

これより議案第 7 号の目吹互助 25 番から 28 番について採決します。

本案について、原案のとおり決定することに賛成の方の挙手を求めます。

—全員挙手—

全員賛成と認めます。

よって本案は、原案のとおり可決されました。

退席者の入室を認めます。

—〇〇委員復席—

議長を交代します。

—齊藤委員は議長席へ、鳩貝委員は自席へ—

議長 次に移ります。

議長 野田市農業委員会会議規則第10条の規定に基づき、〇〇委員の退席を求めます。

- 〇〇委員退席 -

議案第7号目吹互助79番、小山互助31番から38番を議題とします。
事務局の説明を求めます。

事務局 議案第7号目吹互助79番、小山互助31番から38番についてご説明いたします。

14ページをご覧ください。

目吹互助79番ですが、1年の賃借権設定が田1筆で3,364平方メートルとなっております。

29ページをご覧ください。

小山互助31番から38番ですが1年の賃借権設定が田8筆で19,975平方メートルとなっております。

以上の計画内容は、農業経営基盤促進法第18条第3項の各要件を満たしております。
以上です。

議長 ただいま事務局の説明が終わりました。

質問やご意見のある方は、挙手をお願いします。

特に、ございませんか。

—質疑なしの声あり—

質疑なしと認めます。

これより議案第7号の目吹互助79番、小山互助31番から38番について採決します。
本案について、原案のとおり決定することに賛成の方の挙手を求めます。

—全員挙手—

全員賛成と認めます。

よって本案は、原案のとおり可決されました。

退席者の入室を認めます。

- ○○委員復席 -

議長 野田市農業委員会会議規則第 10 条の規定に基づき、○○委員の退席を求めます。

- ○○委員退席 -

議案第 7 号小山互助 45 番から 55 番を議題とします。
事務局の説明を求めます。

事務局 議案第 7 号小山互助 45 番から 55 番についてご説明いたします。

29 ページをご覧ください。

小山互助 45 番から 55 番ですが 1 年の賃借権設定が田 11 筆で 12,748 平方メートルとなっております。

以上の計画内容は、農業経営基盤促進法第 18 条第 3 項の各要件を満たしております。
以上です。

議長 ただいま事務局の説明が終わりました。

質問やご意見のある方は、挙手をお願いします。

特に、ございませんか。

—質疑なしの声あり—

質疑なしと認めます。

これより議案第 7 号の小山互助 45 番から 55 番について採決します。

本案について、原案のとおり決定することに賛成の方の挙手を求めます。

—全員挙手—

全員賛成と認めます。

よって本案は、原案のとおり可決されました。

退席者の入室を認めます。

- ○○委員復席 -

議長 議案第 8 号「農地利用集積計画（一括）について」を議題とします。

事務局の説明を求めます。

事務局 議案第 8 号についてご説明いたします。

30 ページをご覧ください。

野田市長より令和 6 年 2 月 2 日付けで、農用地利用集積計画（一括）について、改正前の農地中間管理事業の推進に関する法律第 18 条第 3 項の規定により農業委員会の意見を求められています。

10 年の賃借権設定が田 2 筆、4,354 平方メートルで、今回の計画内容は、農地中間管理事業の推進に関する法律第 18 条第 4 項の各要件を満たしております。

以上です。

議長 ただいま事務局の説明が終わりました。

質問やご意見のある方は、挙手をお願いします。

特に、ございませんか。

—質疑なしの声あり—

質疑なしと認めます。

これより議案第 8 号について採決します。

本案について、原案のとおり決定することに賛成の方の挙手を求めます。

—全員挙手—

全員賛成と認めます。

よって本案は、原案のとおり可決されました。

次に移ります

報告事項に移ります。

議長 「報告第 1 号から第 7 号」について、一括して事務局の説明を求めます。

事務局 報告第 1 号から報告第 7 号についてご説明いたします。

報告事項の 1 ページをご覧ください。

報告第 1 号 農地法第 3 条の 3 の規定による相続の権利取得の届出は、3 件受理しております。

次に 2 ページをご覧ください。

報告第 2 号 農地法第 4 条の規定による市街化区域内的の農地転用の届出は、3 件受理しております。

次に 3 ページから 8 ページをご覧ください。

報告第3号 農地法第5条の規定による市街化区域内の農地転用の届出は、18件受理しております。

なお、報告第1号から第3号については、添付書類を含め、適法であったため、届出を受理し、受理通知書を交付しております。

次に9ページをご覧ください。

報告第4号 農地法第5条第1項の規定による許可申請の取下願について、1件提出がありました。

次に10ページをご覧ください。

報告第5号 農地利用集積計画の中途解約は、1件提出がありました

次に11ページをご覧ください。

報告第6号 農地の現況に関する照会について登記官から1件の照会がありました。

次に12ページをご覧ください。

報告第7号 農地法第52条の規定による賃借料情報について。

別紙のとおりとなっております。

以上です。

議長 報告第6号の登記官照会等については、昭和56年8月28日付け法務省民事局長通知により原則農業委員、農地利用最適化推進委員3名以上と事務局職員で調査にあたることとなっておりますが、登記官照会については、許可済み地のため事務局で現地調査を行い、非農地であることを確認し、千葉地方法務局柏支局に記載のとおり回答いたしました。

議長 ただいま事務局の説明及び委員の報告が終わりました。

質問やご意見のある方は、挙手をお願いします。

特に、ございませんか。

—質疑なしの声あり—

これらは報告事項でございますので、ご了承いただきたいと思います。

議長 以上で、本日のすべての議事が終了しましたので、総会を閉会します。(午後4時8分)

上記会議の顛末を録し、ここに署名する。

令和6年2月9日

議 長

署 名 人

署 名 人